

HOT NEWS

第1回区議会定例会 予算総括質疑より



区議会議員 田中さやか

3月6日～22日、品川区の2017年度予算を審査する
予算特別委員会が設置されました。今年度予算総額は
2432億円、うち一般会計にかかる予算は昨年比マイナス
2%の1645億円。2020年オリンピック・パラリンピック開催
に向け、新たなにぎわいの創出やインフラ整備を加速する行政施
策が目につく中、生活者ネットワークは一人ひとりが安心して暮ら
し、地域で支え合えるような福祉優先の基盤整備こそを求める立
場から、8日間の委員会審査に臨みました。

待機児対策・保育の 「質」の確保は区の責務

2017年度は認可4園、
認証10園の保育園が開園され、
定員1044人が拡大の予定
です。認可・認証を補完する
認可外保育施設の保育料の補
助が4月から開始されること
と併せて評価します。しかし、
定員増に占める0歳1歳の乳
児の拡大率は259人と少な
く、特に待機児問題は深刻で
す。今年も昨年より5人増の
1190人が一次不承諾とな
り対策が十分とは言えません。
勤労は誰にとっても認められ
た権利です。子育てをしなが

ら働くという選択肢を尊重し、
保育の受け皿を増やすことは
区の喫緊の重要課題です。
とはいえ、待機児解消の「量」
ばかりが先行し、「保育の質」
がおろそかでは子ども利益
になりません。

保育士の資格や人材育成は当
然ですが、その前提には保育士
の処遇改善が欠かせません。
国や都の補助金は法人に支払
う制度のため、保育士一人ひと
りの手元に直接届くしくみとな
っているのか質しました。

区は2016年の夏に、区
内私立保育園全園に対して処
遇改善調査を実施。各保育園
の20代から50代常勤保育士と



公園用地を活用した保育園は区内に2カ所。西大井
ひろはの一部に4月に開園した保育園を訪問。公園
内に新しく子どもひろば(写真左)も設置。ここは地域
住民への配慮から、園児は保育時間に利用しないで
道を隔てた公園を利用するのだという。昼の時間帯
のためか利用者はいなかった。まなびの森保育園西
大井にて。2017.4.19

園長を含め6～7名が回答。
その結果は、15年と比較して
私立保育園保育士の賃金は、
国・都の補助金を含め、1人
当たり平均で月額約3万8千
円改善しているとのこと。

ただ国の補助金は都が行う
研修受講が条件で、研修のた
めの休暇が保障されなければ、
保育の「質」の確保は絵に描
いた餅。私立保育園以外、例
えば認証や小規模保育施設な
どの常勤・非常勤保育士や職
員への処遇については、調査
もされていません。区内の保
育施設で処遇改善が行われる
よう注視しながら、今後もし
一人ひとりの保育士に直接賃金
が渡るしくみを求めます。

LGBTの子どもの存在を 否定しない相談体制を

生きづらさを感じながら学
校生活を送っている子どももた
ちに、「多様な人権として、ひ
とと違っていることも尊重さ
れるべき」と肯定的なメッセー
ジを日常の会話の中や教科の
中で発信されているか質しま
した。思春期に悩んでいるL

GBTの人たちはとても多く、
世田谷区がNPOを通し実施
した当事者アンケートでは、回
答者の半数が自殺を考えたこ
とがあると回答しています。

品川区は、各学校でLGBT
Tの子どもが相談できる準備
は進んでいるとの答弁でした
が、具体的な取り組みは見え
てきません。生徒や教師の理
解はもとより、LGBTの子
どもの存在を否定しない人権
教育が必要です。

平和教育に 身近な題材の活用を

戦後70年の特別企画として区
は、「いま聞いておきたいあの
日の記憶」と題し、「壊滅した
商店街と満蒙開拓団」、「19
45年5月24日城南大空襲」、
「子どもたちの戦争」という
品川区での戦争をまとめた三
部作をDVD化しています。

城南大空襲が、荏原地区で
壊滅的な打撃を受けたことや、
東京大空襲よりも空襲の規模
が大きかったという事実はあ
まり知られていません。

図書館でこのDVDの上映
と、当時の状況を語り継ぐ、
事実を風化させない取り組み
を提案。今夏の平和月間で荏
原図書館と源氏前図書館でD
VD上映を検討すると答弁。
品川区がこのDVDを率先し
て活用し、さまざまな世代が
戦争の歴史から平和について
考える機会を増やすよう求め
ました。

義務教育学校 初年度の卒業式に 参列して

区議会議員 吉田ゆみこ

校長が卒業証書を手渡す時、最初
と最後の生徒には歴代卒業生に振
られた番号を読み上げます。今年
の卒業式で、最初の生徒に振られた番
号「1番」は読み上げられると、会場
に静かなさざめきが。「新しい学校種
の卒業式」を実感した瞬間でした。

在校生と卒業生の送辞と答辞の
両方に登場したのが運動会の思い
出でした。義務教育学校として5年
生から9年生で運動会を挙行了た
様子も、それぞれの目線から表現さ
れていました。初めての経験に戸惑
い、試行錯誤しながらリーダーシッ
プを発揮し、5年生からの下級生をま
とめ上げた9年生の達成感。その苦
労を身近で見た8年生の尊敬のま
なざし。その場面にいない私にも学
年を超えた一体感が感じられました。
しかし、ふと懸念も沸きます。品
川の義務教育学校は国の想定とは
違って、7年生からの定員人数(2
クラス)の「編入」が前提です。義務
教育学校が特徴を出せば出すほど、
「編入生」の疎外感は深いのではな
いでしょうか。
義務教育学校については、現在進
行中の学事制度審議会の議論の対
象です。義務教育学校設置の際、あ
まりにも拙速な決め方に対し、生活
者ネットワークは反対をしました。今
度こそ、様々な立場の人たちの意見、
児童・生徒の意見を聴きながら慎重
な議論によって結論を導くべきです。

議員紹介
品川・生活者
ネットワーク
区議会議員



吉田 ゆみこ
品川・生活者ネットワーク幹事
長/総務委員会/オリンピック
・パラリンピック推進特別委
員会/廃棄物減量等推進審
議会/議会改革検討会



田中 さやか
品川・生活者ネットワーク政
調会長/区民委員会/消防
団運営委員会